

第6学年 図画工作科学習指導案

- 1 単元名 味わってみよう「和」の形（鑑賞）
- 2 単元の目標 暮らしを楽しく豊かにしている「和の形」にふれ、よさや美しさを感じ取る。

3 本時の学習

- (1) 目標 「和」を表す文様をもとに、形や色を工夫した動く文様をつくろう。

(2) プログラミングを取り入れる効果

同じ形がくり返し使われている構成が多い文様の特徴を捉え、それを表現するために論理的に考えながら「Viscuit」の中で紋様を制作し、文様が表す「和」の美しさを体験的に学習することができる。また色や動きを取り入れることで、似ているようで似ていない友だちとの文様のちがいにも気づくことができ、「和の形」の多様な美しさを感じ取ることができる。

(3) 展開

学習活動	・指導上の留意点（◇評価）
1 本時のめあてや学習課題を確認する。	・前時までの学習内容を掲示し、要点をおさえながら振り返らせる。
「和」を表す文様をもとに、形や色を工夫した動く文様をつくろう。	
2 「viscuit」を使って紋様を作る。	・活動がおこなわれている児童に、形や柄の大きさ、色合いなどについて掲示物を参考にしながら個別に声かけをする。
3 友だち同士で作った作品を見合い、交流する。	・途中までの成果をペアやグループで見せ合う時間をとり、より良い作品づくりへのきっかけをつかませるとともに、活動への意欲を高める。
4 友だちの作品を見て気づいたことや真似してみようと思ったことを活かし、再びビスケットを使って紋様を作る。	◇紋様「和の形」の特徴を捉え、表現しようとしている。
5 本時の学習を振り返り、次時の活動内容を確認する。	・次時の「鑑賞会」の大体を伝える。

4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	・「和の形」の特徴を捉えて表現する活動を通して、美しさを感じ取ることができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	・扇子や折り紙、風呂敷などの「和の形」を施した具体物を準備し、その紋様から感じ取る「美しさ」を言葉で表現させる。